

ノイエスだより

ノイエス朝日
(朝日印刷工業株式会社)

群馬県前橋市元総社町73-5
TEL 027-255-3434
FAX 027-255-3435
https://www.neues-asahi.jp

Communication House
NEUES
ASAHI

気がつけば桃の節句も終わり、卒業・入学のシーズンになりました。生活し慣れたステージから新たな場所へ旅立つ人々にとっては一生に一度の場面でもあり、特に若い人たちにとっては未知の世界へ飛び込む緊張の時期です。大人になると次第にそういった緊張も少なくなり、「慣れる」という脳内の感覚の鈍化は脳の素晴らしい機能とはいえ、なるべく新鮮な気持ちも忘れずに仕事に取り組みなくてはいけないと反省することもあります。よく大舞台に立つアスリートや舞台人も、毎回緊張すると言っています。その張りつめた気持ちをうまくコントロールして予想以上の結果を出すという気持ちの強さは見ならうべきところがあると思います。ノイエス朝日でも、ほぼ九日ごとに新しい展示会が開かれます。搬入飾りつけをして、お客様をお迎えして、搬出する繰り返し。しかし、毎回内容は異なり、展示が終わった会場を見渡すと本当に別の場所のように広さや色の印象や匂いまでもが違います。そして、作家たちにとっては舞台と同じ、自分と一対一で向かい合ってきた作品をお客様に見ていただく大事な場面です。私も緊張と落ち着きのバランスを大切に展示会に向かわなくてはと感じています。

話は変わりますが、また大河ドラマの影響で平安時代の食事などに興味をもって調べてみました。驚いたのは、藤原道長のお父さんやお兄さんたち、本人も「糖尿病」だったということです。どうも白米ばかり食べていたのが原因らしいです。そして、ドラマではだいたい豪華に見えている食事ですが、平安時代の食事はあまり栄養価が高くなくて、見栄えはよくてもほとんど残すことが前提で、残されたものは使用人が食べていたということです。お給金が通用しないので、「食べさせてもらえない、着るものももらえない」ということが奉公の基本だったようです。貴族たちは穢れを嫌って食事も着るものも行動もかなり制限があつて、栄養状態もそれほど良くなって病気になるやすかつたようです。確かに上下水道設備もなく、どこにも腐敗物があるような不衛生な中、色々な意味で「穢れ」は疎まれたことでしょう。紫式部も越前にいたときに口にしたいワシが好きだったようですが、魚を食すのは宮中では卑しいとされていたそうで、あまり口外できなかったとか。

そういえば「日本は宮中や殿様よりも庶民が美味しいものを食べていた」という話を聞いたことがあります。江戸時代にはなりますが池波正太郎の小説に出てくる料理を思い出すだけでもかなり美味しそうです。基本はやはり「季節のものを美味しいうちに」です。季節の変わり目になります、そろそろ食卓にフキノトウやアブラナが出てきましたので、そういったもののパワーをもらってこの春を楽しみたいと思います。(橋本)

ノイエス朝日〈展示会〉のご案内

田嶋祥行油繪展 ―生・民― 〈企画〉

三月二十三日(土)～三十一日(日)
午前十時～午後五時(最終日は午後四時終了)

去年高崎シティギャラリーで第1弾が開催されました。今回は第2弾として一九五六年～一九八〇年くらいの間の作品を展示予定です。

版画三人展

―モノクロームに魅せられて―

鈴木康弘・多胡宏・中林三恵

四月六日(土)～十四日(日)
午前十時～午後五時(最終日は午後四時終了)

〈企画〉



鈴木 康弘

- 一九八七 第18回現代日本美術展(ブリジストン美術館賞)
- 一九八八 第4回中華民国国際版画展(台北市長賞)
- 一九九〇 筑波大学大学院修士課程芸術研究科修了
- 一九九八 第27回現代日本美術展(東京国立近代美術館賞)
- 二〇〇二 平成13年度文化庁買上優秀美術作品 (高崎タワー美術館)
- 二〇一三 SPAーク 文化庁買上優秀美術作品 (高崎タワー美術館)

日本版画協会会員



中林 三恵

- 一九四四 太田市生まれ
- 一九六七 群馬大学教育学部卒 自由美術群馬研究会に参加
- 一九六九 自由美術展に出品(二〇一三)
- 一九八八 版画展に出品(二〇一一)
- 二〇一一 自由美術平和賞受賞「庭の王様」
- 二〇一六 第67回群馬県美術展にて会員賞受賞「オアシス」
- 二〇二二 熊谷市 八木橋百貨店にて個展

「赤い花白い花」の作詞・作曲



多胡 宏

- 一九五七 群馬県生まれ
- 一九八〇 筑波大学芸術専門学群卒業
- 版画期待の新人作家大賞展、ミヤコ版画大賞展、棟方記念版画大賞展、南アルプスミニチュア版画展、自由美術展、南島原市セミナーヨ現代版画展、アワガミ国際ミニプリント展、上毛芸術奨励賞、群馬県美術展山崎記念特別賞などで受賞。イースター(ロシア)、邀請展(中国、森の中の美術展)、夢の軌跡群馬の作家展(高崎シティギャラリー)、前橋の美術(アーツ前橋)などに出品。

ふる本コーナーをリニューアルしました

国道沿いに並べていたふる本コーナーを、ノイエスのエントランスホールから入ってすぐの場所に設置しました。ふる本市から選り抜きの本を並べてあります。たまに内容を変える予定です。是非お立ち寄りください。



今後の予定

第27回 樺澤健治作陶展

四月十九日(金)～二十五日(木)
午前十時三十分～午後六時(最終日は午後四時終了)

※案内状は次回お送りします

※ 展示会会期中以外はノイエス朝日は閉廊しています。ご用の方は会期中にご連絡ください。